

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 非ウイルス性肝細胞癌の予後を増悪させる糖尿病関連エピジェネティクス  
クスの解明

### 研究の目的

糖尿病患者さんでは肝癌の発生率が高いことが明らかとなっています。また糖尿病があると肝癌の治療成績も悪い可能性があります。とくに肝癌は再発を繰り返す癌であり、そのメカニズムを解明することで肝癌の新しい治療法が見つかる可能性があります。私たちは、糖尿病が肝癌を悪化させるメカニズムに、エピジェネティクスという遺伝子修飾機構が強く影響していると予想し、これらの関係性を明らかにしようと考えています。

研究実施期間： 令和6年 1月 1日 ~ 令和7年 3月 31日

対象となる方： 2005年1月1日~2020年12月31日までの間、附属病院消化器外科、市立函館病院で肝細胞癌に対して手術を受けられた方。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

カルテの記載内容や検査結果、病理検査結果を利用し、病歴、年齢、性別、身長、体重などのデータ、内視鏡結果、画像情報、手術情報、病理所見、再発・死亡などの術後情報を利用します。また、手術で摘出した臓器で組織学的な検討も行います。

具体的には、患者さんを糖尿病罹患群と糖尿病非罹患群に分けて、両者の臨床データの違いを明らかにしたり、生存率の違いを比較したりします。手術で摘出した臓器を用いて、特殊な検査を行うことで、癌に発現するタンパク質を解析したり、micro RNA やメチル化といったエピジェネティクス機構がどの程度影響しているかを測定したりします。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学消化器外科・山田貴大 0172-39-5079 (内線 4163)
-------	---------------------------------------